

入院のご案内

病院の理念

地域に根差した大学病院として高度かつ安心な医療を提供するとともに優れた医療人を育成します



入院日時： 年 月 日（ ） 時 分

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター



〒462-8508

名古屋市北区平手町1丁目1番地の1

電 話 052-991-8121 (代)

病院の基本方針

1. 公立大学病院の使命を自覚し、安心安全で質の高い医療を提供します
2. がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センターとして、がん医療、小児・周産期医療の充実に努めます
3. 地域の医療機関と連携し、地域医療の発展に貢献します
4. 充実した医学教育のもと、人間味豊かな優れた医療人を育成します
5. 医学研究を推進し、新しい医療の創出を進めます

患者さんの権利

1. 平等で良質な医療を受ける権利
2. 十分な説明を受ける権利
3. 自らの意思で治療方針を決定できる権利
4. 個人の尊厳やプライバシーが守られる権利
5. セカンドオピニオンを求める権利

患者さんの責務とお願い

1. ご自身の健康状態について、正確な情報をお伝えください
2. 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください
3. 暴言・暴力等、他の方の迷惑となるような行為は厳に慎んでください
4. 医療費の自己負担分は必ずお支払いください
5. 医療スタッフ育成のための研修病院として教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします

安心・安全な医療を受けていただくために

当院は、安全で質の高い医療の提供と患者さんと職員の安全を守る為に、次のような迷惑行為があった場合は、診察をお断りし、退院・退去していただくことがあります。また、警察への相談、情報提供又は通報を行う場合があります。

最善の医療を提供するためにも、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

- ・ 大声や奇声、暴言、威嚇的・脅迫的言動により他の病院利用者や職員に迷惑を及ぼすこと

- 暴力、傷害等の行為により他の病院利用者や職員に危害を及ぼし、又はそのおそれを生じさせること
- セクシャル・ハラスメント、ストーカー行為等により他の病院利用者や職員に迷惑を及ぼすこと
- 窃盗・詐欺等により他の病院利用者や職員に迷惑を及ぼすこと
- 職員に対して文書作成や面談、電話対応等を強要すること
- 対応し難い要求の繰返し又は長時間の面談・電話等により病院の業務を妨害すること
- 正当な理由なく敷地内に立ち入り、又は長時間留まること
- 病院の許可のない写真・ビデオ等の撮影・録音をすること
- 正当な理由なく治療や検査を拒否するなど、治療に著しく非協力的であること
- 入院患者の面会時間や衣服その他の所持品の授受等に関する病院の指示を遵守しないこと
- 敷地内において刃物・爆発物その他危険物を持ち込み、又は所持すること
- 敷地内において喫煙又は飲酒をすること
- 敷地内において病院の許可なく他の病院利用者や職員に対しての営業行為をすること
- 敷地内の建物・工作物・設備・機器等を破壊、損傷、汚染し、又は病院の許可なく使用、移動すること
- その他病院利用者や職員に迷惑を及ぼし、又は病院の診療その他の業務や敷地内の秩序を妨害すること

個人情報保護方針

当院は、信頼の医療に向けて、患者さんに良い医療を受けていただけるよう日々努力を重ねております。「患者さんの個人情報」につきましても適切に保護し管理することが非常に重要であると考えております。そのために当院では、以下の個人情報保護方針を定め、患者さんの個人情報を適正に取り扱うよう努めます。

1. 個人情報の収集について

当院が患者さんの個人情報を収集する場合、診療・看護および患者さんの医療にかかわる範囲で行います。その他の目的で個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得たうえで実施いたします。

2. 個人情報の利用及び提供について

当院は、患者さんの個人情報の利用につきましては、以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

○患者さんの同意を得た場合

○個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合

○法令等により提供を要求された場合

当院は、法令の定める場合等を除き、患者さんの同意なく、その情報を第三者に提供いたしません。

3. 個人情報の適正管理について

当院は、患者さんの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さんの個人情報の漏えい、紛失、破壊、改ざん又は患者さんの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

4. 個人情報の確認・修正等について

当院は、患者さんの個人情報について開示を求められた場合には、速やかに本市の条例等に当たって対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正等を求められた場合も、調査し適切に対応いたします。

5. 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、法令その他の規程を守るとともに、上記の各項目の見直しを必要に応じて行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

学生等の実習について

当院は、大学附属病院として医師をはじめとする医療スタッフの教育実習機関も兼ねており、実習生が診療等に参加することもございます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

目次

外来配置図・施設のご案内	P 5
病棟のご案内	P 7
施設・設備のご案内	P 8
1 入院予約をされた患者さんへ	P 9
2 入院時の持ち物について	P 10
3 食事について	P 12
4 栄養相談について	P 13
5 特別室利用料（1日）	P 14
6 入院生活について	P 15
7 駐車場利用について	P 17
8 安全のために	P 17
9 付添いについて	P 19
10 面会について	P 19
11 入退院支援について	P 20
12 患者相談窓口のご案内	P 20
13 がん相談支援センターのご案内	P 20
14 入院費のお支払いについて	P 21
15 肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症を予防するために	P 23
16 非常時について	P 25
シャワー室のご利用について	P 26
持参されるお薬についてのお知らせ	P 27
医学部学生の臨床実習についてお願い	P 28
持ち物チェック表	P 30

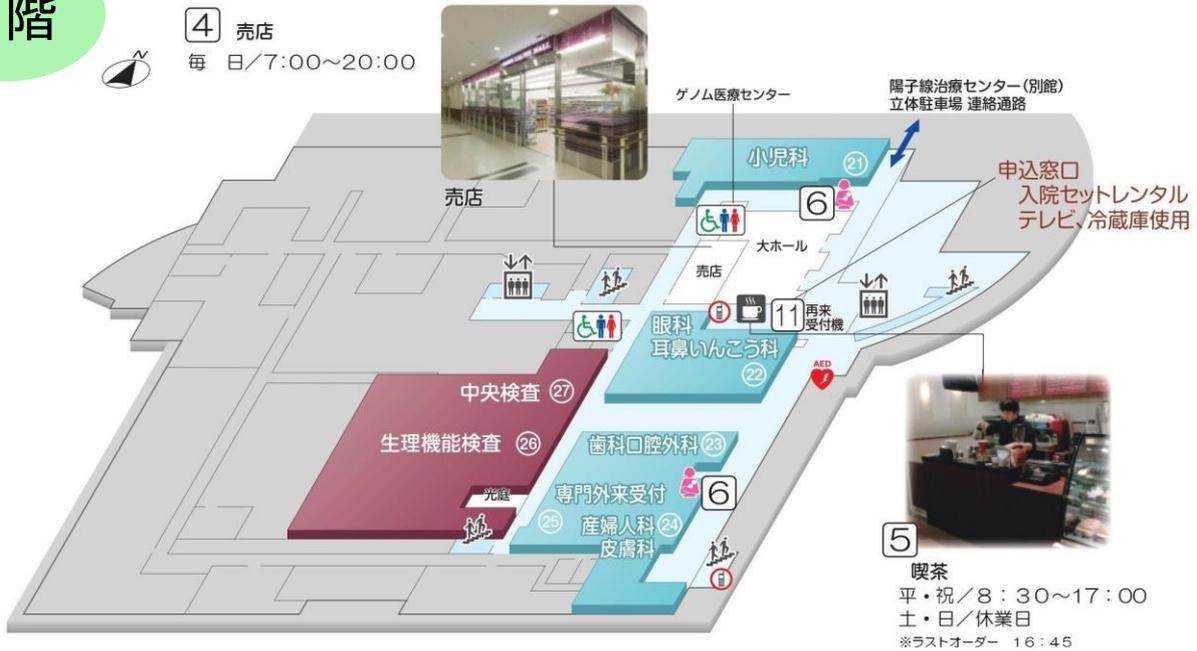


外来配置図・施設のご案内

1階



2階

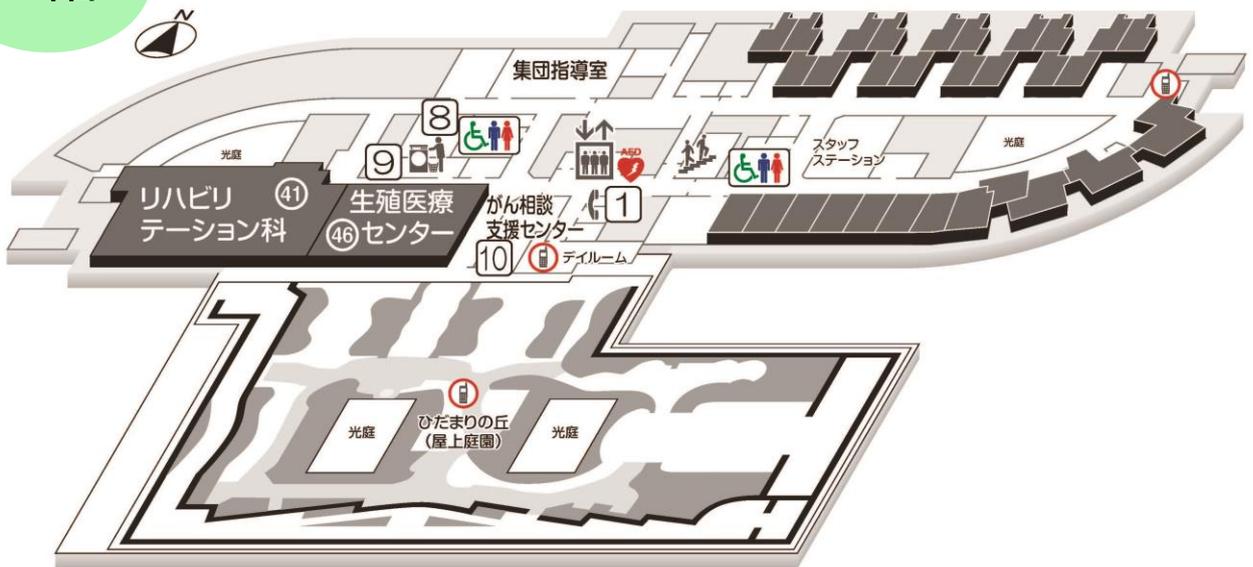


- ⑦ 総合案内 平日 8:45~15:30
 - ⑧ ATM 毎日 24時間
 - ⑨ 授乳室 2F 平日 8:00~18:00
 - ⑩ 患者サポートセンター
 入院前面談 平日 9:00~16:30 / 患者相談窓口 平日 9:00~17:00
 - ⑪ 申込窓口(入院セット、テレビ・冷蔵庫)
 平日・祝日 9:00~17:00 土日 休業
 - ⑫ 公衆電話 1・4・6F 毎日 24時間
 - ⑬ 自動販売機コーナー 毎日 24時間
 - ⑭ 入院受付 平日 8:45~17:15
 - ⑮ おくすりお渡し口
- ※売店・喫茶・申込窓口の営業時間は変更される場合があります。

3階



4階



1 公衆電話

1・4・6F 24時間

8 医療情報提供コーナー

平日 9:30~15:00

9 ランドリー室 (有料)

毎日 6:00~22:00

10 がん相談支援センター (予約制)

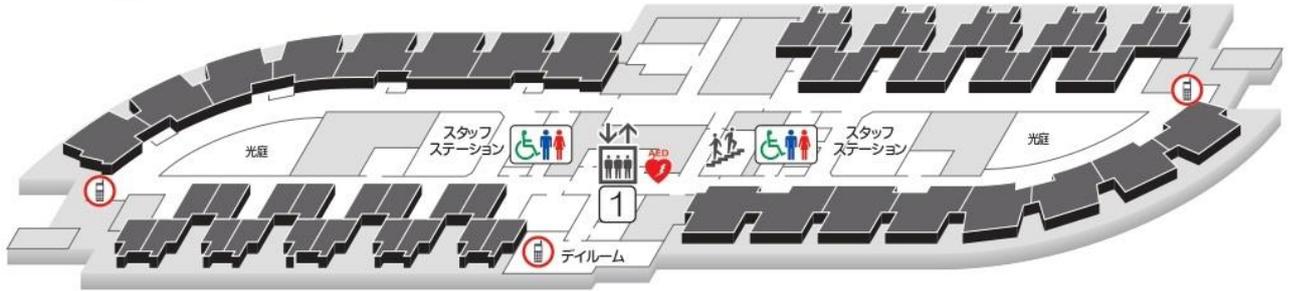
※がんについての相談 (予約制)

平日 10:00~12:00
13:00~16:00

※就労についての相談 (予約制)

毎週木曜日 11:00~12:00
13:00~16:00

5 ~ 8階



1 公衆電話
1・4・6F 24時間

※各階によって異なる部分があります。

病棟のご案内

	西病棟		東病棟
	801~824 呼吸器腫瘍センター	8F	
	751~776 アイセンター	7F	701~726 脊椎センター
	651~676	6F	601~623 消化器腫瘍センター
	551~576 女性病棟	5F	501~526
南病棟		4F	401~432 小児医療センター
ICU/HCU 重症・救急病棟	周産期医療センター		
	NICU/GCU	3F	LDR/MFICU/ 産科病棟 301~324

ICU：集中治療室
NICU：新生児集中治療室
LDR：陣痛・分娩・回復室

HCU：高度治療室／ハイケアユニット
GCU：新生児治療回復室
MFICU：母体胎児集中治療室

施設・設備のご案内

場所	施設・設備	利用時間	
全階	シャワー室・洗髪コーナー	毎日	9:30~20:00
	デイルーム	自動販売機・湯沸あり 電子レンジ利用可	毎日 6:00~22:00
	公衆電話（1、4、6階のみ）	毎日	24時間
4階	ひだまりの丘（屋上庭園）	毎日	7:00~19:00
	医療情報提供コーナー	平日	9:30~15:00
	がん相談支援センター（予約制）	平日	10:00~12:00 13:00~16:00
	ランドリー室（有料）	毎日	6:00~22:00
2階	売店 ※2	毎日	7:00~20:00
	喫茶 ※2	平日・祝日 土・日	8:30~17:00 休業 ※ラストオーダー 16:45
	申込窓口（入院セット、テレビ・冷蔵庫） ※2	平日・祝日 土・日	9:00~17:00 休業
1階	ATM（セブン銀行）	毎日	24時間
	自動販売機コーナー（飲料水・食品）	毎日	24時間
	自動販売機（入院用品） ※◎おくすりお渡し口の隣	毎日	24時間

※1 売店・喫茶・申込窓口（入院セット、テレビ・冷蔵庫）の営業時間は変更される場合があります。

※2 諸般の状況により施設の利用が制限される場合があります。

1

入院予約をされた患者さんへ

入院予約をされた方には、1階⑦番入院受付で入院に必要な書類等のご案内をいたします。入院日が未決定の方は、後日病院から入院日時を電話でご連絡します。

入院当日の手続き

指定の入院時間までに1階⑦番入院受付へお越しください。

入院手続きに必要なもの（必ず持参いただくもの）

- 診察券
- 入院申込書
- 「入院される患者さんへ」又は「お子様の情報提供にご協力下さい」
この冊子といっしょにお渡しした書面です。ご記入の上ご持参ください。
- マイナ保険証等、医療証（乳・障・母・子、高齢受給者証などの公費負担証）※1
- 限度額適用認定証 ※別紙「高額療養費制度について」をご確認ください。
- 印鑑

※1 公費負担制度について

病名や症状により、医療費が公費負担される諸制度や福祉制度がございます。詳細は都道府県、市区町村役場、最寄りの保険センターまでお問い合わせください。

当院で適用可能な主な公費負担制度は、以下の通りです。

公費負担制度名称	主な申請窓口
未熟児養育医療給付	市区町村
自立支援医療給付（育成医療）	市区町村
自立支援医療給付（更生医療）	市区町村
小児慢性特定疾病医療費助成	都道府県（名古屋市在住の方は区役所・支所）
指定難病・特定疾患医療給付事業	保健センター（名古屋市在住の方は区役所・支所）
名古屋市特定疾患医療給付事業	病院窓口
愛知県特定疾患医療給付事業	保健センター（名古屋市在住の方は区役所・支所）
結核患者の医療給付	保健センター
自立支援医療給付（精神通院）	市区町村

先天性血液凝固因子障害等治療研究事業	保健センター（名古屋市在住の方は区役所・支所）
肝炎治療特別促進事業に係る医療の給付	保健センター
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業	保健センター

※申請窓口は患者様の住所地によって異なる場合があります。

入院手続きに関するその他注意事項

- ① 入院中に保険証などの内容に変更があったとき、または資格がなくなったときは、必ず1階⑦番入院受付へお申し出ください。
- ② 入院予約日や入院時間の変更、取り消しをされる方は、事前に各診療科へ電話でご連絡ください。（☎ 052-991-8121）
- ③ ケアマネジャー・在宅医・訪問看護師等の支援を受けられている方は、ご利用されているケアサービスの担当の方に入院されることをお伝えください。また、入院時に病棟のスタッフへご利用されているケアサービスをお伝えください。

2 入院時の持ち物について

入院セットのレンタルサービスをご希望の方は、2F 申込窓口で詳細をご確認のうえ、お申し込みください。
 レンタルサービスでは、甚平・浴衣、タオル、洗面用具や入浴用品が借りられます。また、おむつ、おしりふき等のレンタルもあります。

※ 入院セットのレンタルサービスの申込窓口は病院2階再来受付機のとおりです。

<input type="checkbox"/> 入院のご案内（この冊子）	<input type="checkbox"/> 診察券	<input type="checkbox"/> 印鑑、筆記用具
<input type="checkbox"/> イヤホン（P16 参照）	<input type="checkbox"/> マイナ保険証等、医療証、限度額適用認定証	
<input type="checkbox"/> 洗面用具	<input type="checkbox"/> 入浴用具 ボディソープ、シャンプー、バスタオル等	
<input type="checkbox"/> かかとがある履物	<input type="checkbox"/> パジャマ（前開きのもの）、下着類	
<input type="checkbox"/> コップ	<input type="checkbox"/> タオル類、ティッシュペーパー、その他衛生用品	
<input type="checkbox"/> 服用中のお薬（市販薬を含む）※、お薬手帳、お薬の説明書（P27 参照） ※入院予定日数分（最大14日分まで）を薬袋に入れてお持ちください。		
※70歳以上、認知症や物忘れがある方、以前にせん妄をおこしたことがある方、お酒の飲む量が多い方、視力の低下・難聴のある方は入院後にせん妄を起こしやすいため、以下の物をお持ち下さい。		
<input type="checkbox"/> 時計・ラジオ <input type="checkbox"/> カレンダー <input type="checkbox"/> 趣味の雑誌・物 <input type="checkbox"/> 家族や昔の写真 <input type="checkbox"/> 日常使用している眼鏡・補聴器・義歯		

以下の診療科へ入院される方は、他に次の物をお持ちください。

○ 小児科

- 母子健康手帳（別冊とも）
- タオル 3～4 枚
- 着替え（薄手で袖口の広いもの） 5～6 枚
- バスタオル 4～5 枚
- オムツまたはパンツ、お尻拭き
- 肌着（新生児を除く）
- 付添の方の寝具、着替え
- ミルクと哺乳用品一式（必要時のみ）

○ 婦人科手術に必要な持ち物

- 生理用ナプキン（夜用） 1 袋
- 前開き膝丈まである寝衣 2 枚
- バスタオル 1 枚
- タオル 1 枚
- フレックスパンツ 1 枚

《持ち込みができないものについて》

- ・ はさみ、カミソリ、果物ナイフ、爪切りなどの刃物類
- ・ テレビ、扇風機、電気ポット等の電気器具。

※ 病院2階売店で日用雑貨品を販売しております。

※ 洗濯は、病院4階ランドリー室を有料でご利用いただけます。

洗剤等をご用意ください。

※ 入院後、看護師より上記以外に必要なものをお伝えすることがあります。

※ ご不明な点は病棟の看護師にお尋ねください。

※ 入院中の持ち物に関しましては患者様およびご家族の方の自己責任のもと管理をお願いします。

3 食事について

病状に合わせた食事を病院から提供いたします。治療のための食事を召し上がっている患者さんや嚥下困難な患者さんに対する飲食物の持ち込み・差し入れはご遠慮ください。また、衛生管理上、生もの等の持ち込み・差し入れもご遠慮ください。病棟内での自炊、出前も固くお断りいたします。

食物アレルギーのある方は、医師・看護師に必ずお知らせください。

食事時間・場所

	朝食	昼食	夕食
食事時間	07:30~	12:00~	18:00~
食事場所	病室または病棟ダイニング ※看護師にご確認ください。		

※配膳の約1時間後に下膳します。食中毒防止のため、料理の取り置きはご遠慮ください。また、下膳の際には病院が用意した食事用具を回収いたします。

※外出・外泊などのご自身の都合で食事が不要の際は、早めに看護師にお申し出ください。提供直前や提供後のお申し出は食事代をいただく場合があります。

食事内容

以下のとおり、選択メニュー等を実施しています。昼食の選択メニュー以外についてご希望の場合は、看護師までお申し出ください。尚、医師の指示や食物アレルギー等でご希望に添えない場合があります。

○ 選択メニューについて

- ・ 朝食は和食（主食はごはんやおかゆ）か洋食（主食はパン）を選ぶことができます。
- ・ 火曜～金曜（祝日は除く）の昼食は2種類から選択することができます（一般食種のみ）。前日に配布される申込食札でお申し込みください。

○ 朝食の牛乳について

一部の食事を除き、原則として朝食に牛乳が付きます。牛乳が飲めない場合はヨーグルトなどに変更することができます。

○ 主食について

- ・ 一部を除き、主食はごはんです。食べにくいなどご希望いただければ軟飯やおかゆ、うどん（昼夕のみ）、パンに変更できます。
- ・ 主食の分量は調整が可能です。

○ 主菜について

大量調理のため、好き嫌いに対応することはできません。ただし、主菜の肉料理、魚料理などは他のおかずに変更することができます。

【その他】医師の指示やアレルギー等がないことを条件に以下を提供しています。

- 3東病棟で出産された患者さんには「出産祝い膳」をご用意しています。
- 8階病棟の特別室（特別個室S・A）に入室の患者さんは「特別室メニュー」を選ぶことができます。

4 栄養相談について

栄養相談は主治医の指示により管理栄養士が行います。

生活習慣病等の疾患に関するだけでなく、嚥む・飲み込む機能の低下による食欲不振や食事にお困りの方の相談も受け付けておりますので、医師や看護師等にお申し出ください。



5 特別室利用料（1日）

部屋の種類	料金（税込）	面積 (m ²)	設備
一般個室B	7,700円 (1日につき)	13.50 ～ 14.10	床頭台（ <u>有料テレビ・有料冷蔵庫・金庫付</u> ） 洗面台 クローゼット小 トイレ・シャワー 椅子 電話（有料）
一般個室A	8,800円 (1日につき)	14.60 ～ 16.70	床頭台（ <u>有料テレビ・有料冷蔵庫・金庫付</u> ） 洗面台 クローゼット小 トイレ・シャワー 椅子 電話（有料）
特別個室B <u>産科病棟のみ</u> (11室)	16,500円 (1日につき)	19.50 ～ 20.90	床頭台（ <u>無料テレビ・金庫・冷蔵庫付</u> ） 洗面台 クローゼット小 トイレ・シャワー 椅子（2脚）・ミニテーブル 電話（市内無料） リクライニングチェア Wi-Fi
特別個室A 8階のみ (5室)	22,000円 (1日につき)	37.40 ～ 38.20	床頭台（ <u>無料テレビ</u> ） 冷蔵庫 洗面台 クローゼット中（ <u>金庫</u> ） トイレ 浴室 応接セット 電話（市内無料） リクライニングチェア Wi-Fi IHコンロ・流し台 ライティングデスク
特別個室S 8階のみ (1室)	27,500円 (1日につき)	49.92	床頭台（ <u>無料テレビ</u> ） 冷蔵庫 洗面台 クローゼット大（ <u>金庫</u> ） トイレ 浴室 応接セット 電話（市内無料） リクライニングチェア Wi-Fi IHコンロ・流し台 ライティングデスク ノートパソコン（貸出・インターネット可）

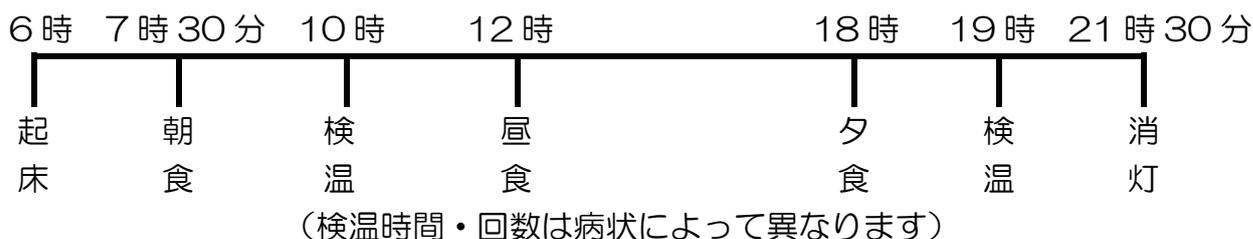
- 1泊ではなく1日ごとの料金です。（1泊2日の場合は2日分の料金となります。）
- 上記の料金（税込）は消費税等を税率10%で計算しております。
- 診療上、個室利用が必要な患者さんが発生した場合などで、他の個室や大部屋に転室していただくことがあります。ご了承ください。
- 使用状況等により、ご希望の個室がご利用いただけない場合があります。
- アメニティーの準備はございませんので、ご自身でご用意いただくか、入院セットのレンタルサービスをご利用ください。
- 特別個室S、A、BではWi-Fi（NAGOYA Free Wi-Fi）が利用できます。
- 料金の異なる個室へ移動した場合の移動日は、移動後の室料でご請求となります。
- 個室と大部屋の間で移動した場合の移動日は、個室の料金が発生します。
- 一般個室A又はBをご利用の方は、テレビ及び冷蔵庫の使用は有料のため、お申し込みが必要です。

6 入院生活について

- ① 入院中は医師や看護師の指示に従い療養に専念してください。入浴、散歩、他の診療科への受診などは主治医、看護師にご相談ください。
- ② 外出・外泊のご希望は主治医の許可を得たうえで所定の届出用紙を記入し看護師に提出してください。無断での外泊・外出等で病室を長時間不在にしていることが確認された際は、ご家族へ連絡することや警察へ捜索依頼をすることがあります。
- ③ 入院中に、本人または家族がかかりつけ医に薬をもらいに行くことはできません。入院前に他院で処方されたお薬がなくなった時は、医療スタッフにご相談ください。
- ④ 携帯電話のご利用は他の方の迷惑にならないようお願いします。
また、マナーモードでご使用ください。
病棟内でご使用いただける時間：7時～20時
- ⑤ 盗難防止のため患者さんや面会の方は多額の現金、貴金属（指輪・ネックレスなど）はご持参されないようお願いいたします。お手持ちの大切なものは必ず備え付けの金庫で保管してください。患者様の管理下での盗難等について、当院では責任を負いかねます。
- ⑥ 入院中すべての患者さんに共通する一日の流れは、以下のとおりです。生活リズムについてのご相談は、看護師にお申し出ください。



このマークのある場所は携帯電話等通話可能エリアです。



- ⑦ 病棟出入口・デイルームは、安全のため22時～翌6時まで施錠しています。この間の出入は看護師にお申し出ください。
- ⑧ 患者さんのプライバシー保護のため、病室の扉を閉めるよう努めております。移動時の不都合等で開放のご希望がございましたら、看護師へお知らせ下さい。多床室をご利用の場合は、同室者の方の都合により開放することがございます。
- ⑨ テレビ、冷蔵庫のご利用は2階再来受付機のとりにある申込窓口でお申し込みください。お申し込みされるとテレビ、冷蔵庫の利用に必要なカードをお渡しします。

使用料については、退院後に委託業者より請求書が届きますので、委託業者に直接お支払いください（使用料を病院にお支払いいただくことはできません）。

- 2～4人部屋でのテレビのご利用時には、他の患者さんに迷惑がかからないようイヤホンをご使用ください。

※イヤホン（コード3m以上）はご用意ください。

病院2階売店でも販売しております。

- 退院時に誤ってテレビのリモコンをお持ち帰りにならないようご注意ください。

- ⑩ 病院が用意した寝具の洗濯は、病院が行います。私物は、4階ランドリー室（自動洗濯機・乾燥機）をご利用いただけます。

※有料でのご利用です。100円硬貨が必要です。

※洗剤等のご用意ください。病院2階売店でも販売しております。

- ⑪ 火災予防のため、火気の使用は厳禁です。

- ⑫ 入院中の喫煙、飲酒は付き添いのご家族を含め固くお断りいたします。電子たばこについても禁止です。

喫煙、飲酒された際は、退院していただく場合があります。

※敷地内及び周辺道路（歩道を含む）は全面禁煙です。



- ⑬ 病院の器物を破損された場合は、実費にて弁償をお願いすることがあります。また、他の患者さん又は病院職員への暴言・暴力行為については、退院をしていただく場合や、警察へ通報する場合があります。

- ⑭ 職員への心付け等は堅くお断りします。

- ⑮ 災害等の対応のため、入院時に非常口をご確認ください。

- ⑯ 診断書・証明書等が必要な場合は、1階③文書受付窓口（8:45～17:15）にお申し出ください。

- ⑰ 当院は急性期医療を提供する医療機関です。病状により病室、病棟を移動していただく場合があります。また、病状が安定された患者様には速やかに退院または転院していただくことについてご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

- ⑱ 療養生活について、お気付きの点等がありましたら職員にお申し出いただくか、各病棟に設置している「ご意見箱」をご利用ください。

- ⑲ 輸液ポンプ等を装着したまま敷地外へ移動しないでください。移動する際の振動等により機器が故障する恐れがあります。また、機器の故障や充電切れなどが原因で機器が正常に動作しなくなった際は治療に支障をきたす可能性があります。

- ⑳ マニキュア、ペディキュア等は入院前に除去してください。また、爪切りの貸し出しは原則行っておりません。入院前に爪の処理をしていただくようお願いいたします。

7 駐車場利用について

- ① 入院日、退院日の「患者送迎時」に限り、無料をご利用可能です。（1台のみ）
入院時に患者様が乗車されたお車を、入院日に出庫せずに入院中も継続して駐車されていた場合、入院日、退院日も含めて有料となりますのでご了承ください。
- ② 入院期間中の駐車場の利用は禁止となっております。
入院時に患者様が乗車されたお車を入院日に出庫できないときは、タクシーや公共交通機関をご利用いただくか、ご家族に送迎をしてもらうなどして、入院期間中の駐車場の利用はご遠慮ください。（やむを得ず駐車した場合であっても、30分ごとに料金が発生します。）
ご事情により患者様ご自身が運転するお車で入院日に来院されるときは、近隣のコインパーキングをご利用ください。（近隣駐車場の案内や割引サービス等はありません。）
- ③ 当院からご家族に来院をお願いした場合などは、駐車料金の減免を受けることができます。駐車料金の減免を受けられる方は、病棟で減免用紙を受領後、1階防災センター（時間外出入口横）又は1階⑦番入院受付までお申し出ください。
なお、各窓口の場所については、5ページの1階案内図をご参照ください。
- ④ 患者様のご家族が面会のためにお車で来院された場合であっても、30分以上の駐車は有料となります。

8 安全のために

- 検査・処置・手術・お薬等の間違いを防止するために
 - ・ 手首や足首にネームバンド（氏名等が印字されたバンド）をつけていただきます。
 - ・ 検査や注射など医療行為を受ける場合、患者さんご自身のお名前を名乗っていただきます。患者さんも職員と一緒に確認をお願いします。
- 治療を正しく継続するために
 - ・ 現在お飲みになっている内服薬によっては、内視鏡検査や、手術が受けられない場合があります。頓服薬を含め、お飲みになっている内服薬は、入院前に担当医師に申し出てください。
 - ・ 内服薬や外用薬（例：貼り薬、ぬり薬、目薬）など、使用中の薬のすべてを、病棟薬剤師にお知らせください。

- 入院時、医師や薬剤師、看護師に、持参されたお薬を続けてよいか必ず確認してください。
- 体の具合を正しくお知らせください。体調が変わった時や点滴の痛みや漏れなどがあった場合は、速やかに医師、看護師にお知らせください。
- 当院から紹介した場合を除き、入院中に他の医療機関を受診することはできません。入院前に他院で処方されたお薬がなくなった時などは、医師、薬剤師、看護師にご相談ください。

○ 転倒、転落を防止するために

- 入院中は病気やけが、治療に伴う身体的な影響によって体力や運動機能が低下します。自分で「歩ける」と思っているつもりでも身体が思うように動かないこともあり、思いもよらぬ時に転んで骨折や打撲などの事故につながる可能性があります。当院では転倒予防のため、かかとを覆う靴を推奨しています。事前にご用意ください。ベッド周囲は整理・整頓し、床頭台の上に物を置かないようお願いいたします。
- 患者さんの安全を守るための方法を、ご家族に相談する場合があります。ご理解とご協力をお願いします。



**スリッパやサンダルは
滑ったり、つまずきやすく大変転びやすいです**

○ 感染予防のために

- 患者さんを感染から守るとともに、周りに感染を広めないために、職員は手袋、マスク、ガウンなどをつけることがあります。
- 面会の方やご家族にもマスクやガウンをつけていただく場合があります。また、来院時および帰宅時の手洗いやうがいをお勧めいたします。
- 発熱等、体調の悪い方や、せきのある方の面会をご遠慮ください。
- 患者さんご自身も備え付けの手指消毒剤をご使用ください。
- 1階と3階にマスク自販機がありますのでご利用ください。

9

付添いについて

原則として付添は不要ですがお子さんの場合や患者さんの病状によって、ご協力をお願いすることがあります。また、付添いを希望される方は、病棟の看護師にご相談ください。

※付添いの方への寝具の貸し出しはしておりませんので、各自でご準備ください。

10

面会について

面会時間は下記のとおりです。なお、**原則15歳未満のお子様は病室での面会はできません。**テイルームをご利用ください。

平日	15時～20時
土日・祝日	13時～20時

(NICU/GCUの面会については各病棟にお問い合わせください)

*患者さんの病状等によっては、面会をお断りすることがあります。

*生花の持ち込みはアレルギー対策・感染防止のため、お断りしております。

面会時間はあらかじめご親戚、ご友人などにもご連絡の上、時間内にご面会ください。駐車できる台数が限られておりますので、できるだけ公共交通機関をご利用されますようお願いください。

面会の方の駐車料金は有料(30分以上駐車の場合)になりますので、ご了承ください。

*当院の案内窓口では、面会にみえた方などからお尋ねがあれば、入院病棟をお伝えしております。入院していることを知られたくない場合は、その旨を病院職員へお申し出ください。お申し出があった際は、案内窓口等でのご案内は一切いたしません。

新型コロナウイルスへの感染防止及び病棟内のセキュリティ確保を図るため、面会や荷物の受け渡しのための病棟への訪問は、次のように制限させていただきます。

- ・14時から16時まで
- ・短時間(15分程度)
- ・ご家族に限り1名まで
- ・院内でのマスク着用

面会等で病棟を訪問される方は、1F 防災センター(時間外出入口横)で受付をお願いします。

※諸般の状況により制限内容が変更される場合があります。

11 入退院支援について

当院は、地域医療支援病院として急性期医療の提供を行っております。

患者さんの症状が安定、当院での急性期治療が落ち着いたことを医師が判断した時点で、退院または他の医療機関等への転院をお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

患者さんが住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、必要に応じ入院時より退院後に向けての説明、相談などの支援をさせていただきます。

面談対応時間 平日9時30分～16時30分

12 患者相談窓口のご案内

患者さんが安心して治療に専念できるよう、当院では、医療ソーシャルワーカー、看護師、医療安全管理担当者等の専門のスタッフが患者さんやご家族の方からの様々な相談をお受けする患者相談窓口を設置しています。

相談内容

- ・ 診療や療養などに関すること
- ・ 医療費の支払いや福祉制度に関すること
- ・ 療養中及び療養後の生活上の不安や入院上の不安に関すること
- ・ 医療安全に関すること
- ・ その他、ご意見・ご要望等

相談時間：平日9時00分～17時00分

1階 患者サポートセンターまでお気軽にご相談ください。

※入院中の方は病棟退院調整員にご相談ください。

13 がん相談支援センターのご案内

当院では、がんに関する相談をお受けする「がん相談支援センター」を設置しています。がん患者さんやご家族、地域の皆様方に、がんに関する医療情報の提供をはじめ、様々な疑問や悩みの相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。

1. がん相談支援

相談日 月曜日～金曜日（祝日・年末年始除く）
時間 10時～12時、13時～16時（予約制）
場所 4階 がん相談支援センター（6ページ参照）
電話番号 052-991-8121（代表）

相談内容

- ・療養生活について、不安や悩みを聞いてほしい
- ・仕事や家事など今までの生活が続けられるか心配
- ・治療内容についてよくわからない
など

※専門の相談員がプライバシーを厳守したうえで、質問や相談をお受けします。

2. 就労相談支援

相談日 毎週木曜日（祝日・年末年始除く）
時間 11時～12時、13時～16時（予約制）
場所 4階 がん相談支援センター（6ページ参照）
電話番号 052-991-8121（代表）

※ハローワークの専門職員が対応します。

14 入院費のお支払いについて

- ① 入院費は退院時にご請求致します。1階④番入院精算窓口でお支払いください。
17:15以降および土日、祝日は1階⑧番時間外受付でお支払いをお願いします。
- ② 月をまたいでのご入院の場合は、翌月の15日頃に前月分を確定し、ご請求金額をご提示いたしますので、25日までに1階④番入院精算窓口でお支払いをお願いします。
- ③ 院内1階にATMがあります。（P8参照）
- ④ お支払い方法はクレジットカード払いも可能です。
カードの種類：JCB、VISA、マスター、アメックス、MUFG、DISCOVER等
- ⑤ 領収書は、高額療養費の払い戻し、所得税の医療費控除などに必要になります。大切に保管してください。
※生命保険金給付等に伴う提出や紛失等による再発行は致しません。

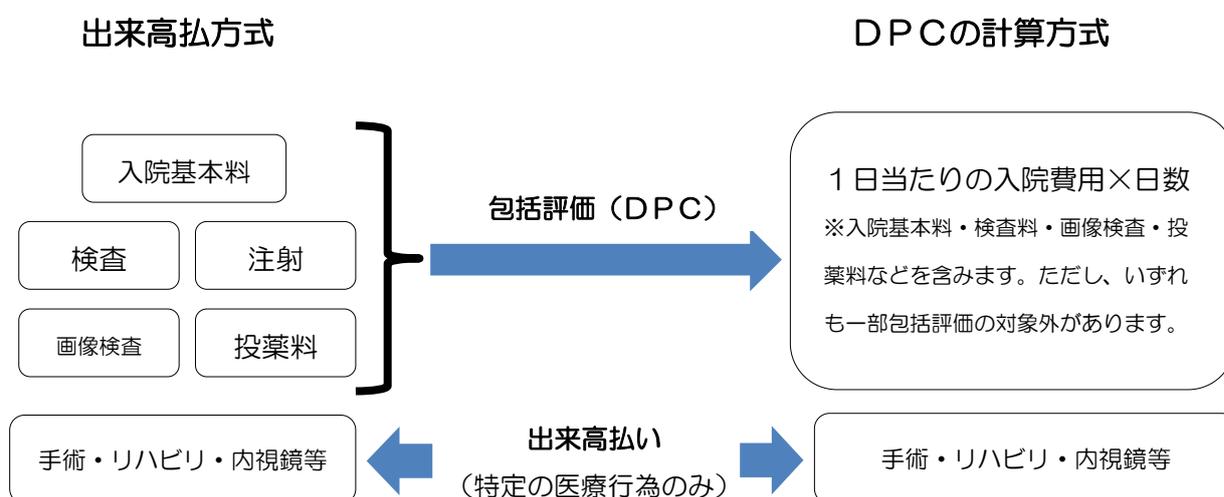
⑥ 休日に退院される患者さんは、退院当日に請求書を発行できないため、休日明けに請求金額とお支払日等をご説明いたします。

⑦ 包括医療支払制度（DPC）について

当院では、診療報酬算定の包括評価制度（DPC）に基づいた費用の請求（PDP S）を採用しております。

DPCとは医療行為ごとの診療報酬点数を積み上げて計算する「出来高払方式」とは異なり、入院期間中にもっとも医療資源を投入した「傷病名」と手術、処置、化学療法などの診療行為の組み合わせに分類された診断群に対して、厚生労働省が設定した1日あたりの包括点数を用いて計算する方式です。

分類された診断群に対する1日あたりの包括点数は「診断群分類」といいます。それぞれの診断群分類の包括点数は入院期間を在院日数ごとに3段階に設定されています。



※入院期間中に合併症の発症や別の傷病の発症による治療内容の変更に伴い、主治医の判断で診断群分類も変更になった場合は、新たに決定された診断群分類に基づく包括点数をもって入院初日にさかのぼり改めて医療費を計算します。月をまたいで変更が生じた場合、前月分までは既にお支払いいただいていることから新たに決定された診断群分類に基づく包括点数に照らして退院時に過不足を調整いたします。

※DPCでは診断群分類ごとに包括評価の入院期間が定められており、この期間を超えた日からの診療費は「出来高払方式」に基づいて計算いたします。

※入院中の食事代、個室料、文書料等保険給付外分は従来通りのご負担となります。

15

肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症を予防するため

『深部静脈血栓症』とは、脚の深い静脈内に血栓（血のかたまり）ができた状態をいい、この血栓が血液に乗って運ばれ、肺の血管をつまらせると『肺血栓塞栓症』を発症します。長時間の飛行機や車などで起きる『エコノミークラス症候群』はこれと同じです。

入院中は手術や抗がん剤治療など長時間体勢を変えられないため、血栓ができやすい要因があります。また入院中は脚の運動不足となり発生しやすくなります。この『肺血栓塞栓症』は突発的に発症し、発症すると死亡率が高いため、予防することがとても大切です。次項をご理解いただき予防法を実践しましょう。

症状

●深部静脈血栓症

はっきりした症状が現れない場合もありますが、足がはれる、押さえると痛む、発赤（皮膚が赤くなる）、むくむなどの症状が出る場合があります。何か異常に気づいたときには看護師に知らせてください。

●肺血栓塞栓症

非常に小さな血栓はすぐに溶かされるので症状がはっきりとあらわれないこともあります。繰り返して血栓が肺の血管に流れ込むと息切れや咳・痰、冷汗が出るなどの症状があることもあります。また、大きな肺の血管に血栓が詰まってしまうと動悸（脈が速くなる）、呼吸困難（息苦しい）、意識がなくなるなどが起こります。ひどい場合には心臓が停止することもあります。特に安静が解除された動き始めの時に、症状が出やすい傾向があります。いつもと何か違うと感じることがあったら、看護師に伝えてください。

予防法

病室では、以下のような運動を取り入れ静脈血栓の予防に取り組みましょう。その他にも、手術や治療の種類、患者さんごとの状態にあわせた予防法を医師や看護師がご説明します。

重要！早期離床と足の運動



脚の血管（静脈）の血液が心臓にもどってくるためには、「フットポンプ」「筋ポンプ」「呼吸ポンプ」を働かせることが重要です。

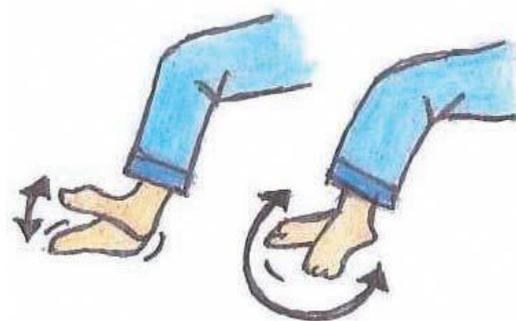


フットポンプ

なるべくベッドから起きて歩き（手術後に、はじめて歩く時は看護師と一緒に）、足底に体重をかける。

筋ポンプ

足のつま先を上下させたり、足で円を描くように動かして、脚の筋肉を伸び縮みさせる。



呼吸ポンプ

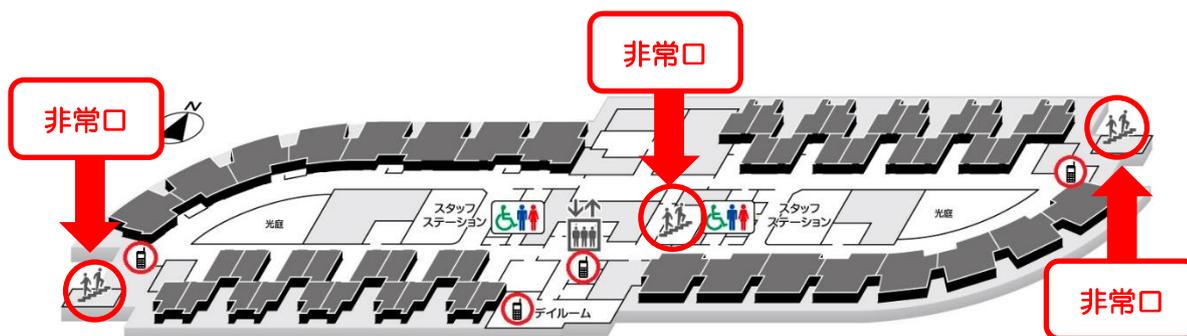
深呼吸する。

安静期間中もベッドの上で足の運動を行いましょう。さらに安静期間後には、3つのポンプを働かせて静脈血栓を防ぎましょう。歩けない場合は足の運動をしましょう。

分からないことはメモして医師や看護師にたずねましょう。

16 非常時について

- ① 火災や地震などの非常時には、病院職員の指示にしたがってください。
- ② エレベーターは利用できません。停止した階で速やかに降りてください。
- ③ 病棟の階段の位置については以下の通りとなっています。



※地震警戒宣言が発令された場合

- ① 当院は、免震構造です。落ち着いて行動してください。
- ② 病室を離れている場合は、直ちに病室にお帰りください。
- ③ 帰宅を希望される方は、主治医にご相談ください。また、帰宅を希望していなくても災害対応の際は安全のため退院していただく場合があります。

※地震が発生した場合

- ① あわてて病室から飛び出さないでください。
- ② 窓ガラスから離れ、割れ物に注意してください。
- ③ 落下物があることを想定して、布団などで頭をおおってください。



シャワー室のご利用について

シャワー室を利用される患者さんの安全確保を優先しております。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

● ご利用時間

9：30 ～ 20：00

- シャワー室の利用時間は 30 分です
- 30 分経過しましたら安全を確認するために看護師がお声がけします

● 共有のシャワー室を利用される際

- シャワー室の通路は常時施錠されておりますので、ご利用の際は、**必ずお申し出下さい**
 - ※ 看護師がご案内致しますので、お一人では行かないようにお願いします
- シャワー浴中であることが分かるように「使用中」のマグネットをシャワー室の扉に貼らせて頂きます
- シャワー浴が終わりましたら、「使用中」マグネットを看護師へご返却ください

● 個室の場合

- お部屋のシャワーをご利用される際は、看護師へ利用時間をお知らせ下さい

● その他

- シャワー浴中に体調の変化がございましたら速やかに「呼出」ボタンでお知らせ下さい



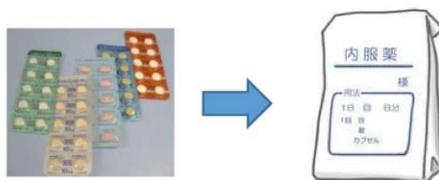
持参されるお薬についてのお知らせ

名古屋市立大学附属西部医療センター

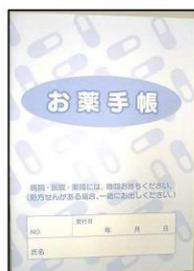
入院される際、使用しているお薬がある方は、予定入院日数分(最大14日分まで)のお薬を持参してください。薬剤師がお薬の内容を正確に把握するために、①お薬、②お薬手帳、③お薬説明書をご一緒にお持ちください。

①お薬

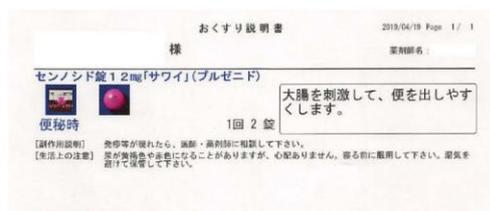
- ・使用しているお薬(使用していない過去のお薬は必要ありません)
- ・薬袋があるものは薬袋に入った状態で、整理してお持ちください



②お薬手帳



③お薬説明書



医学部学生の臨床実習についてのお願い

名古屋市立大学医学部長

名古屋市立大学医学部附属
西部医療センター病院長

1. 医学部学生の臨床実習とその必要性について

よい医師になるためには、講義だけでなく、診療チームの一員として実際の患者さんを診療し学ぶこと（臨床実習）が必要です。低学年生は見学や介助の形での臨床実習を、全国統一の「共用試験」に合格した医学生は“臨床実習生”としてより医師に近い形での臨床実習を行っています。以下に臨床実習について特にご理解頂きたいことを挙げさせていただきます。

2. 臨床実習生が行う医行為の範囲について

臨床実習生が臨床実習の中で行う医行為について、別紙1の『臨床実習で臨床実習生が行う医行為の範囲』で示します。実際に学生が医行為を行うかどうかは、指導医臨床実習生の習熟度を判断します。実施する場合は、学生は患者さんに了解を得たのち、指導医の監督の下で安全に十分留意して行います。

3. 医療事故等への補償について

医学部学生の臨床実習に関連して患者さんの健康ないしプライバシーを損なうような事象が発生した場合は、医学部長及び病院長の責任で適切に対処いたします。

4. 臨床実習生の担当の変更および見学について

担当する臨床実習生が診療の途中で交代したり、実習期間の影響で担当させて頂く臨床実習生が途中で交代したりすることがあります。また、担当以外の臨床実習生や共用試験合格前の医学生と一緒に見学させて頂く場合があります。

5. 拒否できる権利について

臨床実習へのご協力は任意です。一旦同意された後でもその同意を解消することができますので担当医師にお伝えください。その後の診療等を含め一切不利益を被ることはありません。

6. 患者サポートセンターでの対応について

臨床実習における医行為や医学部学生に対する疑問やご意見につきましては担当医師にお伝えいただくか、患者サポートセンターをご利用ください。患者サポートセンターでお伺いしたご意見は担当医に伝えさせていただきます。ご利用にあたっては患者さんのプライバシーを遵守いたします。

以上をご理解頂き、名市大医学部学生の臨床実習にご協力を頂ける場合は、「医学部学生の臨床実習についての包括同意確認書」で「同意する」をご選択ください。

その場合は、担当医師と一緒に臨床実習生が入院の担当をさせて頂いたり、診察や治療に参加させて頂いたりする場合があります。改めて担当医とご相談されたい場合などは「判断保留」をご選択ください。

どうぞよろしくお願い致します。

名市大版『臨床実習で臨床実習生が行う医行為の範囲』

名古屋市立大学医学部長

名古屋市立大学医学部附属
西部医療センター病院長

- ① 基本的な問診と記録
 - ・診療録（カルテ）の閲覧と仮記載、医療的な面接、認知機能などの評価
 - ・書類などに関する説明や確認
 - ② 診察に関する基本的な手技
 - ・血圧測定や酸素飽和度といったバイタルサインの測定、聴診や触診といった基本的な診察、腱反射や知覚・触覚といった神経的な診察
 - ・耳鏡・鼻鏡・眼底鏡、直腸鏡・肛門鏡などを用いた診察、直腸と前立腺の触診
 - ・チューブを用いた気道内吸引、ネブライザー吸入の介助
 - ・静脈採血、臍径部（足の付け根部分）からの動脈採血、腕からの点滴ルート確保
 - ・胃管の挿入および抜去、尿道カテーテル挿入および抜去
 - ・皮下注射・皮内注射・筋肉注射・静脈内注射
 - ③ 基本的な臨床検査の判定や実施
 - ・尿検査の実施と判断（妊娠反応検査を含む）
 - ・グラム染色など微生物学的検査、コロナ・インフルエンザウイルスなど病原体検査の実施
 - ・簡易的な超音波検査、簡易血糖測定、12 誘導心電図の記録
 - ④ 治療や検査に関連する基本的な処置や介助
 - ・清潔処置の準備や介助
 - ・治療（手術を含む）や検査（内視鏡検査など）にあたっての手洗い・ガウン装着
 - ・治療（手術を含む）や検査（内視鏡検査など）における医師の介助や助手
 - ・基本的な縫合と抜糸、外用薬の貼付や塗布、消毒およびガーゼ交換、基本的な創傷・熱傷の洗浄と処置、止血処置の介助、基本的な膿瘍切開と排膿
 - ・ギプス巻き
 - ・浣腸
 - ⑤ 感染対策に関する手技
 - ・標準的な感染予防策の実施や个人防护具の装着
 - ⑥ 診療を支援する行動や指示
 - ・食事や安静度についての指示、定型的な術前・術後管理の指示
 - ・診療計画や書類の仮作成
 - ・酸素投与量の調整
 - ・移動や動作の支援
- * 患者さんへの影響が軽微な行為についてはここに含まれなくても臨床実習生が参加や実施をさせて頂く場合があります。
- * 以下の医行為について学生が見学したり参加したりする場合には、いずれも医師の直接的な指導の下で行われ、実施の前には医師から改めてご説明させていただきます。
- 【婦人科内診（産婦人科）、乳房診察（乳腺外科）】

持ち物チェック表

チェック欄に を入れながら確認しましょう。

<p>入院患者さん全員</p>  <p>*10ページ、27ページを参照してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入院案内（この冊子） <input type="checkbox"/> 入院申込書 <input type="checkbox"/> 用紙「入院される患者さんへ」又は「お子様の情報提供にご協力ください」 <input type="checkbox"/> 診察券 <input type="checkbox"/> 印鑑、筆記用具 <input type="checkbox"/> マイナ保険証等・医療証・限度額適用認定証 <input type="checkbox"/> 服用中のお薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> お薬の説明書 <input type="checkbox"/> 洗面・入浴・食事用具 <input type="checkbox"/> 衣類（前開き）・履物（かかと有り） <input type="checkbox"/> イヤホン（2～4人部屋・コード3m以上） <input type="checkbox"/> タオル類・ティッシュ・その他衛生用品
<p>70歳以上、認知症や物忘れがある方、以前にせん妄様症状が出現した等がある方</p>  <p>*10ページを参照してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 時計・ラジオ <input type="checkbox"/> カレンダー <input type="checkbox"/> 趣味の雑誌・物 <input type="checkbox"/> 家族や昔の写真 <input type="checkbox"/> 日常使用している眼鏡・補聴器・義歯
<p>小児の患者さんが追加で必要なもの</p>  <p>*11ページを参照してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 母子健康手帳（別冊とも） <input type="checkbox"/> タオル類・着替え <input type="checkbox"/> 肌着（新生児を除く） <input type="checkbox"/> オムツまたはパンツ・お尻拭き <input type="checkbox"/> ビニール袋（オムツ廃棄用） <input type="checkbox"/> 付添者の寝具、着替え <input type="checkbox"/> ミルク、哺乳用品（必要時）
<p>婦人科手術を予定している患者さんが追加で必要なもの</p> <p>*11ページを参照してください</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 生理用ナプキン（夜用） <input type="checkbox"/> 前開き膝丈の寝衣 <input type="checkbox"/> バスタオル、タオル <input type="checkbox"/> フレックスパンツ

*入院セットのレンタルサービスをご希望の方は、2F 申込窓口でお申し込みください。

最終更新 R6.12.17